

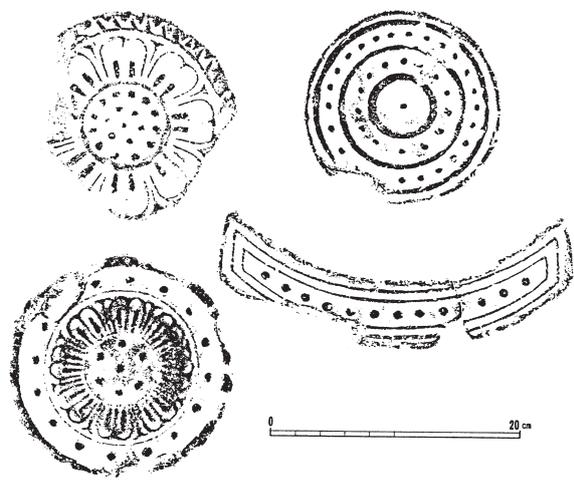
三田廃寺(三田) 出土の古瓦

三田廃寺は現在のJ R伊賀上野駅北側に所在した古代寺院です。古代伊賀国においては阿閉・山田・伊賀・名張郡に各1寺院が造営されましたが、4寺院の中でも阿閉郡に造られた三田廃寺は、建立時期が比較的早いとされています。昭和の初めごろには元の地形がよく残存していたようで、石田茂作博士は地籍図から中門・塔・金堂・講堂が南北に一直線に並ぶ四天王寺式の伽藍配置を想定しています。

本年、市教育委員会に寄贈された故岡田栄吉氏所蔵考古資料の中には、三田廃寺から出土した瓦当が良好に残る古瓦が数多く含まれています。創建時の瓦としては白鳳期(660〜70年ごろ)の単弁八葉蓮華文軒丸瓦(右)があげられますが、この瓦は山田郡の鳳凰寺



▲鳳凰寺廃寺(左)と三田廃寺(右)の単弁八葉蓮華文軒丸瓦



▲三田廃寺出土の古瓦

廃寺とは同種の瓦でありながら、別系統の製作工人の存在が想定されています。この軒丸瓦に伴う二重弧文軒平瓦や鬼板瓦の破片も白鳳期のもので考えられています。また、天平期(750年ごろ)の重圈文軒丸瓦や対に用いた重郭文軒平瓦(右図の右側)も多く残存していて、これらは大阪の難波宮で出土する軒瓦とよく似た文様となっています。また、岡田氏が所蔵した瓦の中には、菊花波文の軒平瓦といった中世瓦も見られることから、本寺院跡が古代から中世にわたって存続したことがわかります。

これらの古瓦を含む岡田栄吉収集出土資料は、本年1月に市文化財に指定されました。

教育委員会文化財室 ☎22・9681



発行日 平成18年11月1日
 発行 伊賀市
 〒518-8501
 三重県伊賀市上野丸之内116番地
 編集 企画振興部広聴広報課
 ☎0595-22-9636
 FAX 0595-22-9617
 伊賀市ホームページ：
<http://www.city.iga.lg.jp/>

ひとが輝く 地域が輝く
 ~住み良さが実感できる自立と共生のまち~
 伊賀市 IGA CITY

第23回上野城新能

10月7日、上野城本丸広場特設舞台上野城新能が行われました。会場には約700人が訪れ、大槻文蔵の観世流能「花月」、大藏彌太郎の大藏流狂言「寝音曲」、櫻間右陣の金春流能「山姥」が披露されました。



表紙の金春流能「山姥」は山姥の山巡りの曲舞を得意とする遊女が従者と善光寺へ参詣に行く途中、本物の山姥と出会い、夜更けの月明かりの下で一緒に舞います。その後、山姥はどこへともなく去っていくお話です。
 山姥の迫力のある舞いに参加者の息を呑む姿が見受けられました。ライトが照らされたお城と、時々、風で飛ぶ薪のかがり火が印象的でした。(今月の表紙)